

天政会 (本田武志・脇島義純・池田裕之・中村三千人・西村尚武・勝木幸生・宮下幸一郎)

西之表市 相続未登記農地の農地流動化 対策について

視察報告

全国的に相続未登記農地が農地流動化の阻害要因となっている。西之表市と農業委員会では、農業地帯のモデル地区として農地中間管理事業に選定し、利用集積活動を行った。親族過半数の同意で貸し付け可能な5年間の利用権設定で進め、農業委員会が「相続関係説明図」を作成した結果、総面積の「20%以上」を「地域集積」し、担い手に貸し付けた。

今後も同地区で5割以上の目標に地域集積を進めるとともに、他の地区でも同様の取り組みを進める方針である。

視察を終えて

「農地中間管理事業」は貸借の合意が必要である。相続未登記農地が虫くい状態が残ると「地域集積協力金」の対象となりにくい。今後、新しい農業委員会の取り組みが、大型の営農組織が設立される中、相続未登記農地の流動化へ向けて、積極的に取り組めるのか注視したい。

南種子町 種子島宇宙センターがもたらす観光効果と 宇宙留学の果たす役割について

視察報告

これまで、H2型ロケットが当センターより打ち上げられたのは本年2月17日「ひとみ」で30号機となった。その都度、数万人の観光客が技術の最先端を堪能するために上陸する。

発射台から3km離れた見学スペースは身動きが取れないほどの見学者で埋まってしまう。観光産業を中心にあらゆる波及効果がみられるのは言うまでもない。

また、宇宙留学は年間限定50人を、町内7小学校の複式学級防止対策で始めた。募集初日に70通以上の応募で締め切る人気ぶりである。国内に田舎・地方留学制度はあるが、宇宙留学という言葉の持つインパクトと魅力に心を踊らされる。また、その受け皿となる里親の受け入れ体制は万全を期している。

視察を終えて

種子島宇宙センターの進出が、少子化対策等の多様な事業に効果が見られるなど、島全体への波及効果をもたらしている。島にあるものを磨き上げることを優先して、現状に見合う環境整備に徹するなど、過度の整備を求めない姿は見習うべきと感じた。

天草本来の魅力や強みがどこにあるのかをもう一度見つめ直し、天草「宝島」の魅力を発信していきたい。



天草市議会では、議員が政策調査研究等の活動のために支出する費用として、条例等を定め、政務活動費を支給しています。例えば、類似市の政策について行政視察を行う場合は、会派制を導入していることから、基本的に会派で視察を行います。議員個人として行う一般質問等における政策提言の参考にもされています。

なお、政務活動費は使途基準を定め、収支報告の際には報告書及び領収書の添付が義務付けられています。

市民クラブ (大塚基生・益田政昭)

愛知県豊橋市 デンソートマト栽培プロファーム実証ハウス

視察報告

天草市の基幹産業である農業において、従事者の減少・高齢化といった問題がある。また、TPPなどを考えたとき、強い農業・儲かる農業を見据えた生産の効率化・安定化・付加価値の向上等を図る必要がある。

今回視察を行った(株)デンソーでは、種苗会社と共同でプロファームを活用した農業支援事業を行っており、今回はトマト栽培プロファーム実証ハウスを視察した。

このプロファームでは、ハウス設計から見直しを行い、太陽光を最大限に取り入れきめ細やかな温湿度管理を行うなど、環境制御技術と栽培技術を融合させ、トマトの収穫量日本一である60t/10aを目指した栽培が行われていた。



視察を終えて

県内でも八代や大津など2〜3カ所でプロファームを導入した栽培が行われているが、施設建設費が10aあたり3,000万円〜4,000万円と個人農家での取り組みには限界があると思われる。

しかしながら、農業生産法人を設立するなどして取り組み、生産流通・販売のコスト削減も可能になるなど、トマトの主力生産地として市場からの注目度も増し、天草農業の核となりうると感じた。

政友会 (浜崎昭臣・平山泰司)、創和会 (船辺 修)、柴田 誠

沖縄県宮古市 (宮古島観光協会) 観光振興について

視察報告

毎年観光客は増加しているが、冬場は減少するとのことで、冬場対策でマラソンなどのイベント



政友会視察

を開催しているとのことだった。特にマラソンは小学生にスタッフとして協力してもらうなど、オール宮古で頑張っている。外国人の観光客も年々増加しているので県の通訳士制度を活用し、地元で通訳士を募集し報酬を支払っているとのこと。今後は、教育旅行や、大学・社会人のスポーツキャンプの誘致に力を入れていきたいとのこと。

視察を終えて

天草市もオール天草でスポーツイベントに小学生に協力してもらうなどのボランティアや通訳の確保、修学旅行(教育旅行)の受入れにさまざまな分野の方と協議、計画していくことが必要である。

沖縄県那覇市 障がい者雇用及び求人支援について

視察報告

株式会社アイエスエフネットライフ沖縄(沖縄事業所)では、障がい者や就労困難者への就労支援をし、最終的に社会で自立するように目的を持って支援している。相手の強みを理解し、ご両親からヒントをもらい、いろいろな仕事を試し、可能性を広げ、そして訓練に時間をかけてやりがいのある仕事を目指して、ご両親の望む姿にしていきたいとのこと。

視察を終えて

天草市とアイエスエフネットグループは、昨年4月に「就労困難者雇用促進に関する協定」を締結し、障がい者やひきこもりの方、生活保護者など、働きたいのに働きづらい全ての人が働ける「ユニバーサル就労」実現に向けて取り組んでおり、去る4月8日に株式会社アイエスエフネットライフ天草が五和町旧御領鬼池小学校校舎内に開設された。

今後は、天草市でも就労できるように、就労環境等の整備などを市民、企業などに協力を求め、雇用創出につながるよう協力していきたいと思った。



要望書を 提出しました!

天草市議会では、平成27年度に各種団体の皆さまと意見交換会を実施し、各種団体よりいただいた意見を集約し、平成28年3月18日に市長へ検討されるよう要望を行いました。

創和会 (鎗光秀孝・松江雅輝・船辺 修)、新風天草 (古賀源一郎・濱洲大心)、中尾友二

長崎県立五島高校「衛生看護科」 衛生看護科設置の経緯、効果と課題について

視察報告

天草市では市立病院4施設と看護学校1校を抱えており、今後の市立病院と看護学校との関わり方について、参考にするため視察を行った。

衛生看護科設置の経緯は、昭和48年に設置され、本年度で43年目を迎える。定員は各学年40名で、現在は、1年生25名・2年生30名・3年生20名で、各学年10名程度が島外から来ており、准看護師試験合格率は、ほぼ100%であるとのことであった。また県立高校で看護科があるのは、日本では奄美と五島だけである。

衛生看護科のメリットは、高校卒業と同時に准看護師の受験資格が得られ、短大や専門学校に進むことで、高校入学から最短の5年間で看護師国家資格を受験でき、長崎県・五島市・五島中央病院からの奨学金制度も利用できること。

課題としては、臨床のスタッフ自体が不足しているため実習先や看護教諭の確保が難しいとのことであった。

また、同校には、離島振興法の援助を受けて普通科スポーツコースが設けられ、各学年20名程度の枠で全国に公募しておられた。スポーツコースは、陸上・柔道・剣道があり各種大会でも好成績をおさめておられた。



衛生看護科実習施設

視察を終えて

現在、本市の中学新卒者で看護師を目指す場合、ほとんどの生徒たちは島外、もしくは県外の看護コースのある高校へ進学しており、卒業後の市内への就職も少ないのが現状である。

市内の高校に看護コースを創設し、市立の看護専門学校や4つの市民病院とも連携を図ることができれば、前述したような現状が少しは改善するのではないかと思う。

また、看護コースやスポーツコースなど特色ある高校が市内にあれば、人口の流出にも歯止めがかかることともに、人口の増加にもつながるのではないかと強く感じた。